



取扱説明書(金型キャビティ温度センサ)

本製品をお使いになる前に、本書をよくお読みください。
本文中の注意事項は必ずお守りください。
本書は必要なときすぐに取り出して読めるように大切に保管しておいて下さい。

本書で正在しているマークと約束事について

本書では、絶対にしないで頂きたい事や注意して頂きたい事、参考にして頂きたい事の説明には、次のようなマークを付けています。これらのマークの箇所は必ずお読み下さい。

	注意 ケガや事故の原因となり、人体の危険につながり得る事への注意です。ここに説明されている事は、絶対に行なわないで下さい。
---	--

	操作や作業する上での注意や制限です。誤った事をしない為に、必ずお読み下さい。
--	--

1. はじめに

この度は金型キャビティ温度センサをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。はじめに輸送中等での破損がないか、又、型式の違いがないかを確認してください。不備な点がありましたら、お買い上げ頂いた代理店もしくは、弊社営業所までご連絡ください。各型式の仕様については、カタログまたは仕様書を確認ください。

2. センサの組み込み

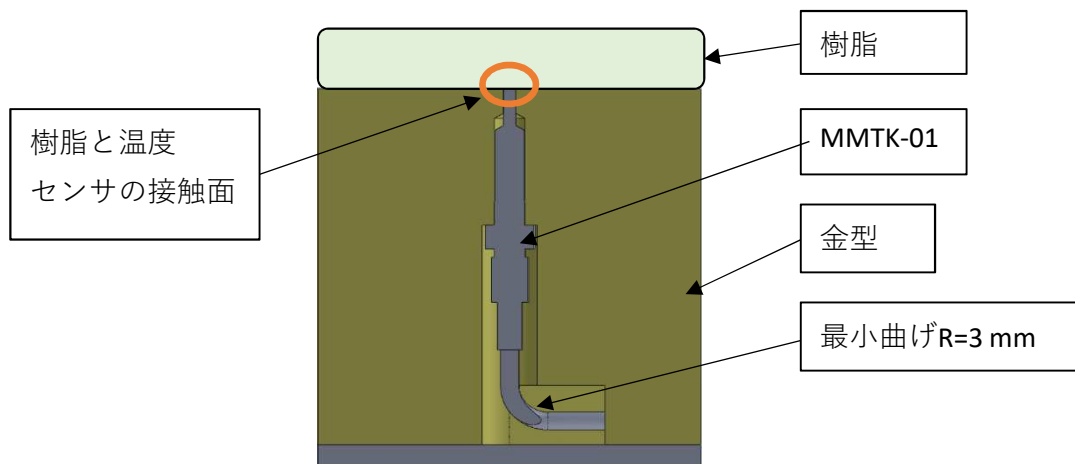
2-1. センサケーブルの位置関係

温度センサは金型に挿入し使用します。



* ケーブルは最小曲げRで折り曲げ、繰り返す同じ個所を屈曲させる事が無いよう注意してください。

MMTK-01はシース型熱電対を使用している為、針金のように折れる可能性があります。

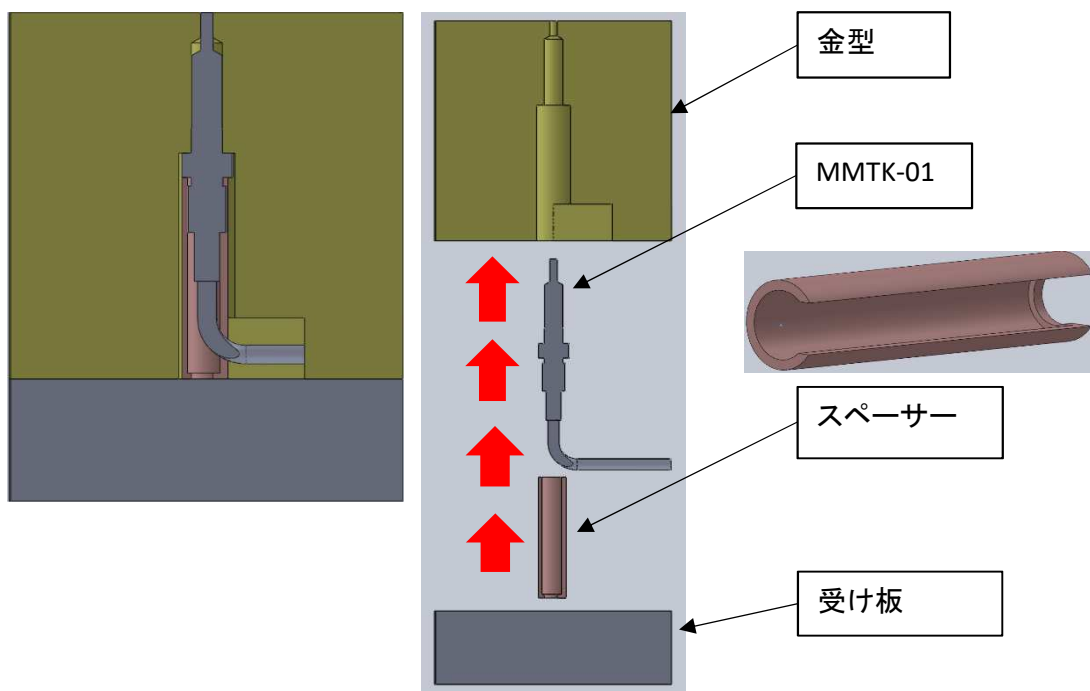


2-2. センサ組み込み時、各部材の構成位置関係

金型に対し、MMTK-01、スペーサーの順に部材を挿入ください。

挿入時、スペーサーの隙間からケーブルを逃がすように配置してください。

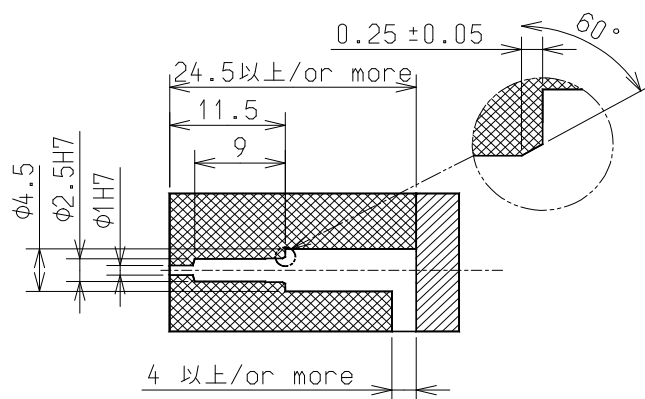
△ 部材挿入後、受け板にてスペーサーを抑えることでMMTK-01は固定されます。



3. 部材加工

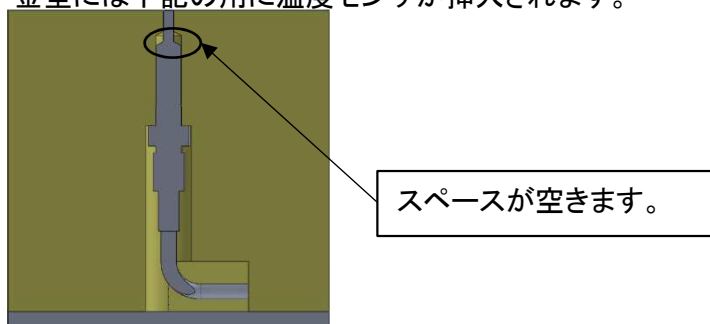
3-1. 金型加工寸法

下記寸法で金型を加工ください。



3-2. 温度センサ挿入イメージ図

金型には下記の用に温度センサが挿入されます。

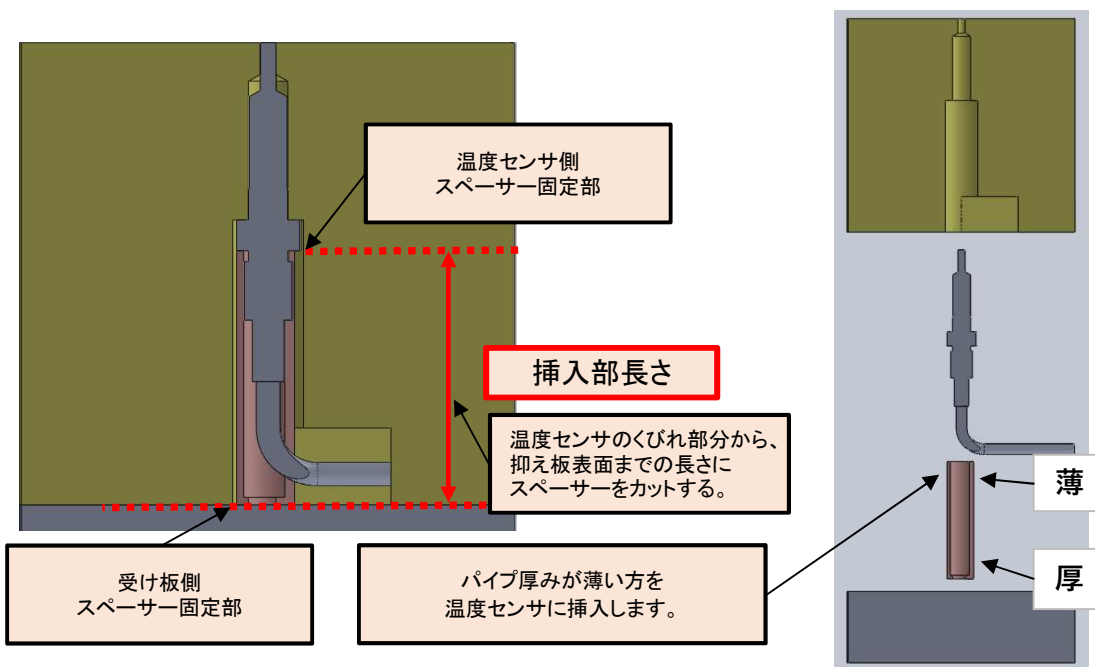
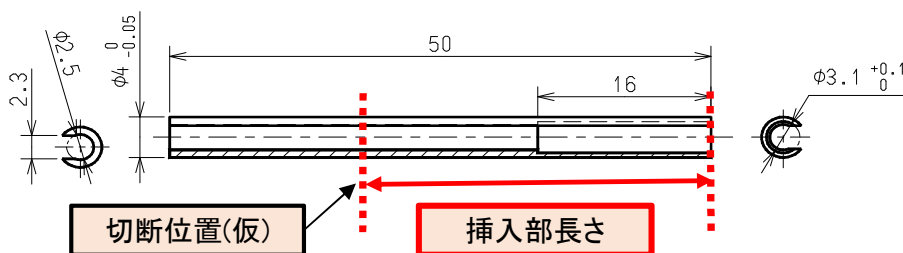


3-3. スペーサー加工

スペーサーを温度センサ挿入部の長さに合わせてカットしてください。
 温度センサはパイプ厚が薄い方に挿入できる様にしています。
 カットするにはパイプ厚の厚い方をスクラップにして切断してください。

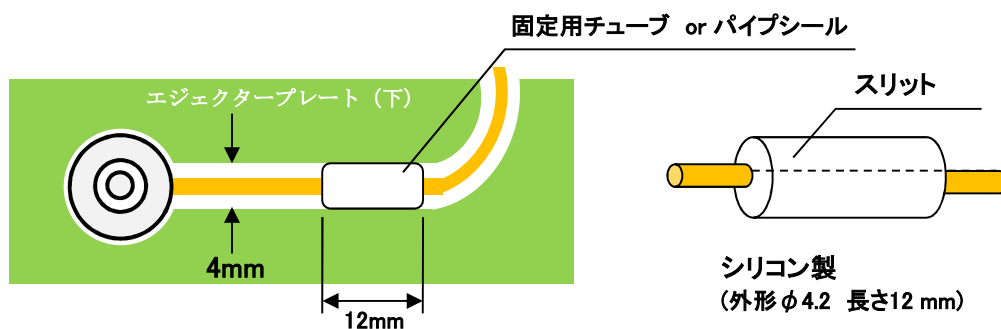
* 加工方法(下記2種の加工方法を推奨致します。)

- ①ワイヤー放電加工
- ②スペーサーに金属の棒を通し加工時のスペーサーの変形を予防した上で、旋盤にておおよその範囲を切断し、長さの微調は研磨加工で行う方法

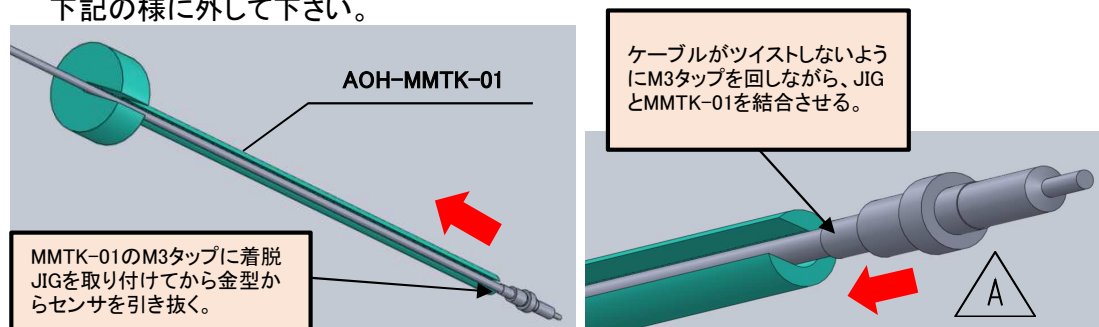


4. センサケーブルの固定

センサー付属のケーブル固定用チューブを用いて、ケーブルを溝に固定してください。
 ⚠ また、金型組立時には挟み込みなどによるケーブルの断線に十分注意してください。
 チューブは4 mm幅の溝に嵌め込むことができます。



5. センサ着脱方法
 センサを金型から取り外す際には別売の着脱JIG(AOH-MMTK-01)を使用し、下記の様に外して下さい。



6. 使用上の注意
- ケーブルを強く引っ張らないでください。断線の恐れがあります。
 - 金型からの取り外しには、専用治具を使用しケーブルを引っ張らないでください。
 - 温度センサの改造、解体はしないでください。
 - 温度センサや感温部や保護管は製品または全体が高温や低温状態になっている事があり、人や物に触れると火傷、凍傷、破損、火災の恐れがあります。
 - 金型の部品同士でセンサを挟み込んだり、センサの上に重量物を置くなどして、過荷重を加えないでください。
 - センサの上に重量物を落とすなど、強い衝撃を与えないでください。
 - 金型の組立や解体、運搬時にはケーブルの断線やコネクタの破損に十分注意してください。
 - センサ組み込み部分の金型加工については、取扱説明書/外観仕様図を参照してください。
 - 金型から外に出るケーブルは、金型の可動域を考慮し、余裕を持たせてください。
 - 付属の固定用チューブは、金型内におけるケーブルの固定や保護に利用してください。
 - 付属の金属スペーサは、センサの金型内への固定に利用してください。
 - ケーブルに取り付けられたラベルは、外さないでください。
 - 廃棄の際は、環境に配慮して処理してください。
 - 温度センサの絶縁抵抗は測定精度に大きく影響します。
 - 保管にあたっては埃のない、乾燥した屋内で保管してください。
 - センサ本体とケーブルの周囲温度は、定められた温度補償範囲内としてください。
 - 点検は周期的に実施し、保護管の損傷状態の把握、センサ表面の腐食や汚れの確認し、必要に応じて点検、清掃を実施してください。

接続方法、その他、不明な点がございましたら弊社にお問い合わせください。

購入及び修理に関するお問い合わせ
 センシングデバイス販売部

△	東京事務所	Tel	03-6758-6761	Fax	03-6758-6760
	名古屋事務所	Tel	052-231-1181	Fax	052-231-1157
	大阪事務所	Tel	06-6263-8331	Fax	06-6263-7388

技術的なお問い合わせは下記にお願いします。
 テクニカルサポートフリーダイヤル Tel 0120-950008

本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。